

題目「日本経済の現状 Japanese Economy :Overview」

兵庫県立大学国際商経学部

教授 大住 康之 先生

1 授業内容

1) 概要

今回の授業では、日本経済の変化や現状を、大量のグラフを用いて、英単語を使い、他国と比較しながら教えていただいた。英語と経済が両方学べる、今までにないような斬新な講義だった。

2) 具体的な内容

・ 経済を読み解く方法

経済(Economy)は、成長 (Output growth)、物価 (Inflation rate)、雇用(Unemployment)の3つを組み合わせると読み取ることができる。

・ 過去約1000年の一人当たり GDP(国内総生産)の歴史的推移 (Historical Trend in per capita GDP in major regions and countries)

最初約1700年の間、経済に成長はほとんど見られなかったが、イギリスの産業革命をきっかけに、全世界で急激に成長。

・ 一人当たり GDP の近年ランキング (Recent trend in ranking of per capita GDP)

1900年代後半あたりの日本は、バブル経済の影響で世界2位に食い込むこともあったが、近年は世界で20位あたりを彷徨っている。

・ 経済成長率 (Growth in the century in Japan)

第二次世界大戦前、大戦中は、日本の経済所得がマイナス以下になることもしょっちゅうあり、このことから、当時の社会がどれほど不安定だったか知ることができる。戦後10年頃から、安定してきている。

・ 日中貿易、日米貿易の推移 (Trade in goods and services : between China and US)

2003年までは、日米貿易の割合の方が多かったが、そこから日中貿易の割合の方が明らかに大きくなっている。

・ 日本低失業、欧州高失業 (Various unemployment dynamics : persistent high in Europe, fluctuating in the US, and low level in Japan)

各国の失業率をみると、日本は一貫して他国よりも低い傾向にある。逆に、アメリカは失業率の変動が大きく、その当時の経済や政治状況が大きく影響していることがわかる。特に、コロナウイルスが蔓延した2020年は、アメリカの失業率は著しく増加している。何かとクビが問題視される日本だが、他国と比べると失業率はとても低い。

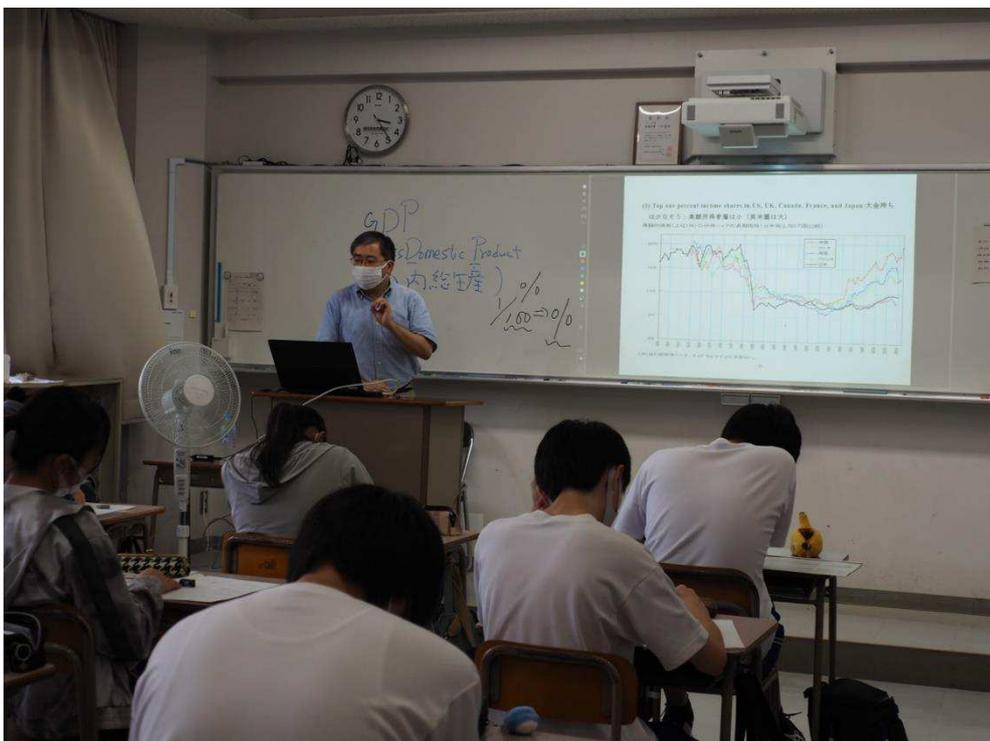
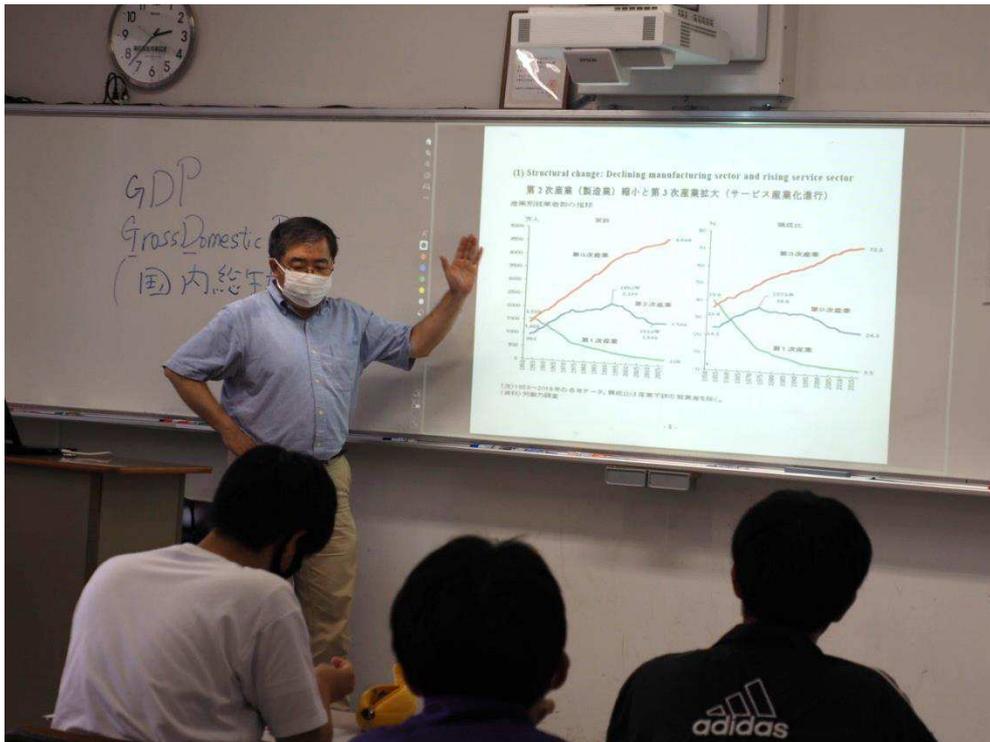
3)インフレとデフレ(Inflation and Deflation)

インフレとは、物の値段が上がり続けること、デフレとは物の値段が下がり続けることを言い、日本は今まで一貫してデフレ状態であった。現在日本はインフレ状態で、円安(1円の価値が下がること、輸入するとき不利になるので輸入大国の日本にとっては致命的)にも悩まされている。アメリカもインフレ状態にあるが、アメリカは金利を急激に上げて、労働者賃金を増やしているにもかかわらず、日本は金利も給与も上がっていない為非常に苦しい状況だ。

2 感想

経済は、私達の生活を豊かにする原動力です。特に、20、21世紀は技術進歩の時代とも言われ各国経済は日々目まぐるしく変化しています。昔から経済は、その時の出来事と大きく結びついていて、経済に大きく変化があったときは、いつも何かしら重大なことが起きた時なので、そのグラフをみただけで、一発で読み取れるのはすごく便利だと思いました。近年の数値をみると、ロシアとウクライナの戦争や、コロナウイルスのパンデミックによって全世界は明らかに影響を受けています。これからの未来、経済の数値をいかに上げるかが私達の使命だと感じました。

記録者:2年1組24番 濱田 かのん



2年生高大連携授業 9月27日(火)

題目「データサイエンスと公的統計」
兵庫県立大学大学院情報科学研究科 (社会情報科学部兼務)
古隅 弘樹 先生

1. 授業内容

1) 概要

近年統計がデータサイエンスの流行で注目を浴びている。

そこで、その数値を正しく解釈するために必要な統計に関する基礎知識を教えていただいた。

2) 具体的な内容

・データサイエンスとは社会にあふれている多種多様なデータ（ビックデータ）から科学的分析によって「価値ある情報」を引き出す学問分野のことで、データサイエンスで得た情報を政策に生かして社会に還元している。

・統計調査は、豊臣秀吉が行っていた検地などを含め、大昔から行われてきた。かつては、租税を徴収するための資料作成や戦争のための国力を測るためであったが、現在は調査の設計（単位・事項）も変更されてきており、国力（＝経済力）を測ったり、GDPなどの様々な経済活動も測定できるようになった。

・統計の中でも、公的統計というものは国・自治体などが行う大規模な統計調査を指す言葉で、行政政策に影響を及ぼすため、正確な調査が必要である。そこで、すべての調査対象を調査する全数調査や、調査する人を無作為抽出して調査する標本調査が実施されている。

・全数調査の例として、国勢調査があるが、これは国の現状を知るために大切なことで、1回の調査に700億円の大金がかかるものの、大正9年から5年毎に行われている。一方、標本調査は回答してもらう人数が少ない分、踏み入った質問をすることが出来るため、コストの抑制や詳しい情報を得ることができる。

・統計結果を見ることで、統計集団の構造や時系列・地域系列の比較が出来るが、統計結果の評価では注意が必要であり、平均値などの1つのデータだけでなく、グラフの形など多角的に見る必要がある。

・標本調査で調査する人を無作為抽出する時には注意が必要で、例えば全国の状態を比較するために標本調査をすると、人口の多い場所の人が多くなってしまうので、地域の特性から調査区を42グループに分けてから無作為抽出されている。

・調査の方法には、郵送やインターネット調査・調査員調査・電話などがあるが、回答数や回答者において、それぞれにメリット・デメリットがあるため、状況に応じて調査方法を選んでいる。また、近年では回答率の低下が問題になっている。

2. 感想

・統計は様々な分野で利用出来る便利なツールなのにも関わらず、回答率の低下が問題になっていると知り、改めて統計調査の意義を大切にして協力していきたいと思った。

・私達の社会や身近なことには、データが活用され、分析や解析することでさらに色々な分野に利用されることが分かった。これからの社会には不可欠なものであるが、人材不足やさらなる問題点もあった。データを様々な角度から見て精査することが自分には苦手とする点なので、この点を克服していきたい。

記録者：2年5組12番 黒原 佑斗
2年5組23番 平岡 桃



2年生高大連携授業 9月27日(火)

題目「消化されない成分の機能性」
兵庫県立大学環境人間学部 食環境栄養課程
助教授 島田 良子先生

1 授業内容

1)概要

今回の連携授業では、難消化性成分の代表である食物繊維の生理作用を中心に、その研究の歴史や摂取量の現状など、幅広く解説していただいた。見やすいスライドや分かりやすい言葉が用いられ、「食」について私たちが興味をもつ機会となった。

2)具体的内容

○難消化性成分について

- ・現在、食品の生体調整機能についての研究が進められている。
- ・ヒポクラテスの時代から、消化されない成分も体に必要だと考えられていた。
→研究が進み、食物繊維の摂取量と糖尿病や大腸の病気の関連性が明らかになった。
- ・食物繊維は「ヒトの消化酵素で消化されない食品成分の総体」と定義され、水の溶解性や化学構造の違いによって分類される。

○食物繊維の効果

- ・消化管：咀嚼回数を増やして唾液分泌量を増やしたり、小腸での栄養素の消化吸収を緩やかにする効果がある。
- ・血糖値：糖質の消化吸収速度が低下し、食後の血糖値の上昇やインスリンの分泌を緩和する効果がある。
- ・血清コレステロール：水溶性食物繊維には、胆汁酸、コレステロールの排泄の促進やコレステロールの合成阻害などによって血清コレステロール値を低下させる効果がある。
- ・排便・便性：便量増加や便をやわらかくすること、腸内細菌のエサとなることで便性・便通を改善する効果がある。
- ・腸疾患：上記の効果によって大腸内の圧力を低下させ、大腸憩室疾患を予防する効果がある。
- ・有害物質：大腸内の有害物質の濃度を低くし、腸内での滞在時間を短くすることから、有害物質の毒性を軽減する効果がある。
- ・腸内発酵：腸内発酵によって生成される短鎖脂肪酸には、大腸の pH の低下や蠕動運動の促進などの効果がある。
- ・免疫：バリア機能の改善や抗体生産調節機能の活性化などの効果がある。

○日本人の食物繊維摂取状況

- ・食物繊維の、1日あたりの摂取目標量は男性 20g 以上、女性 18g 以上とされている。
→60歳以上の方は摂取目標量を摂取できているが、20~30代の方は男女ともに食物繊維摂取量が不足している傾向がある。
- ・食物繊維の供給源としては、穀類や野菜類が大部分を占め、いも類や豆類、果実類などの食品もある。

2 感想

今回の高大連携授業では、食物繊維がどのように人体に良い影響を与えているのかを知ることができ、私たちの食生活を見直すきっかけとなった。毎日食べる主食から食物繊維を摂れるように工夫すべきだという事が印象に残った。これからは、五大栄養素だけではなく食物繊維という観点からも食品を選んでいきたい。

2年3組17番 西村 春佳

2年5組28番 三木 琴葉



題目「コミュニケーションをデザインする」
兵庫県立大学環境人間学部 環境人間科学科
教授 井関 崇博先生

1 授業内容

1) 概要

今回の高大連携授業は大学広報を例にコミュニケーションデザインについて授業をしていただいた。コミュニケーションデザインとは何かという根幹的なことから大学紹介動画作成などの実務的なことまで、環境人間学部の学びのことを交えつつ教えていただいた。

2) 具体的な内容

a. 学部紹介

環境人間学部では“全ての人に豊かな暮らしと環境を”という理念を達成するために“人間学”と多様な学問を学べる学部である。

- ・2年次に専門の系（人間形成系、国際文科系、社会デザイン系、環境デザイン系）を選べるので、1年次に自分の関心を見極めることができる。（食環境栄養課程を除く。）
- ・ゼミ1つあたり学生が4~6人と少人数教育を展開している。

b. コミュニケーションデザインとは？

何らかの目的を実現するために、あるテーマに関する情報コンテンツを作り、様々なメディアを利用して届けることで、人々の意識や行動を変えようとする活動のこと。

- ・商品広告だけではなく、観光や組織広報、政府広告など様々な場で行われている。
- ・メディアには「Paid Media」、「Earned Media」、「Owned Media」、「Shared Media」の4つのメディアがあり、25年前には「Paid Media」のみであった。

c. 大学広報の事例から

- ・大学紹介動画制作のプロセスとしては、まず構想で大学のカラーを明確にして、文章にまとめ、1社ずつプレゼンする業者コンペを行う。そのコンペ後、選定後協議で細かいところを詰め、動画出演などの協力依頼、日程調整をしてから、撮影、編集、修正、音響効果などを確かめる、といった工程を踏む。
- ・一昨年に、大学共通テスト期ポスターを制作した時、受験生全員を応援するため、宣伝要素を排除した。発表済みのイラストを使うことになり、許可を取るためにイラストを描いた人に連絡をしたところ、コンセプトに賛同し快諾を得ることができた。
- ・大学広報の事例において、大学の意思を打ち出し、受け手の感性を考え、社会の動向を見極めることが大切である。

d. ソーシャルメディア時代の手法

- ・現在、若年層のテレビ離れなど、マスメディアの利用が減少しているため、ソーシャルメディアをうまく活用することが大切になる。
- ・2017年の国際女性デー前日に、ウォール街のシンボルのChanging Bullの前に「女性のパワーを知ろう」をコンセプトにしたFearless Girlの像を設置したところ、TwitterやInstagramのソーシャルメディアで話題になり、そのことをテレビが伝えて、さらにソーシャルメディアで広がった。このことはソーシャルメディア時代の広告手段の代表にあたる。

2. 感想

実際に大学のトップページやポスターの原案を比較したり、紹介動画の作り方を教えてもらったりして、普段目にするものの裏側を見ることができたような気がして、いい機会になったと思う。特に、ソーシャルメディアの使い方の例では、現在の世界の流れをうまく利用したもので、話題になるためにもしっかりと動向を見極める必要性を知ることができた。

記録者：2年5組21番 長谷川宗彦
2年5組25番 古川実葉子



題目 「認知症の診断・治療・看護」
兵庫県立大学看護学部 老人看護学
教授 高見 美保 先生

1. 授業内容

1) 概要

今回の連携授業は主に認知症を様々な角度から見つめ、ケアとしての看護を授業していただいた。認知症の早期診断方法や治療方法が開発されてもなお、認知症の根本的対応は「ケア」であることに重点を置いた話だった。

2) 具体的な内容

- ・ 認知症の定義

様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活に支障が出てくる状態のこと。

- ・ 世界の認知症患者増加率

アフリカやアラビア地域は 200~300%、日本は 20~40%

→日本などの先進国では「生活スタイル、治療、ケア」がそろっているため。

- ・ 認知症になった画家、ウィリアム・ウテルモーレン (1933~2007)

空間の奥行、自画像の表情などに認知症の症状が読み取れる。

- ・ 認知症の診断方法

神経心理学的検査

→MMSE が国際的に利用されており、日本では長谷川式簡易知能評価スケールも利用されている。

脳画像検査

→脳の形をみる CT スキャンや MRI、ブドウ糖の吸収をみる PET 画像、血流をみる SPECT 画像がある。

病前診断 (発症前診断)

→その時点ではまだ発症していない方が将来発症するかどうかを細胞レベルで調べる。

- ・ 認知症を引き起こす病気

神経変性疾患→アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症など。

脳血管性認知症→脳梗塞や脳出血が原因となる。

- ・ 抗認知症薬について

アリセプト、レミニールなどがあるが、認知症に効果があるだけで完治するわけではない。

→認知症の治療の第一選択は「ケア」である。

- ・ 回想法について

認知症の人が自分の過去を話すこと。

→自分の過去を話し、楽しかった記憶を思い出すことで日常生活のストレスを軽減させ、認知機能に安定をもたらす効果がある。

2. 感想

認知症は世界中で多くの患者さんがいます。私たち高校生はまだまだ先のことかもしれませんが、祖父母や地域の方など身近な人が認知症になる可能性もあります。そんな時自分は高校生だから何もできないと言って見て見ぬふりをするのではなく今回の講義でコミュニケーションをとるだけでも認知症の方の生活を豊かにする小さな手助けになると知ったので実践しようと思いました。

記録者：2年5組4番 安藤 恵

2年5組5番 岩戸 暖華

